

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	厚生会館文化芸術振興自主事業										事業コード	650202			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいがづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80	頁
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化公演自主事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が身近に音楽を鑑賞・体験する機会の充実を図るため、市内最大規模の舞台・客席を持つホールを活用して、舞台芸術を中心とした文化芸術の振興事業を行う。					
対象者	市民、施設利用者(市内外を対象。宮利・非宮利)入場者(市内外を対象)		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	603		603		954		738			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
		前年度繰越	0		0		0				
		次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		603		603		954		738			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	36		98		507		123			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	567		505		447		615			
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 352							
	② 配当予算	603		251							
	③ 執行額	553		135							
	④ 執行率	91.7%		53.8%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.17	/	0.12	0.10	/	0.12			/	
	② 概算人件費	1,660		1,100							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,213		1,235							
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	厚生会館文化芸術振興自主事業参加料		種 類	雑入		119		30	頁
						実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	コンサート(クラシック・ガラコンサート等)等来場者数	人	中止	/	1000	中止	/	1000	/	1000	1000
	スタインウェイを弾いてみよう参加者数	人	中止	/	35	68	/	35	/	35	35
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	文化振興事業実施件数	回	0	/	3	1	/	3	/	4	4
	単位あたりコスト		0.0		553.0		67.5				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■京阪神の都市圏に行かなくとも、“地元で優れた音楽を聞く”とのコンセプトにより、本市における音楽芸術の振興と質の高い演奏に触れる機会を創出する事業として、必要性は高い。 ■R4年度もコロナ禍でクラシックコンサートは中止となったが、ガラコンサートは実施することができ、市民が文化に触れる機会を創出することが出来た。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■市民ボランティアによる実行委員会を組織し、企画から演奏会の運営など市民協働により事業を推進している。R4年度においても、ガラコンサート等の入場料により効率的な事業推進を図ることが出来た。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■市民が身近に音楽(ピアノ)を体験してもらう「スタインウェイを弾いてみよう」事業は、ピアノの名器スタインウェイに触れていただく機会を創出するとともに、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用を目的に実施し51人に参加してもらった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、毎年の恒例事業として定着している。 ■クラシックコンサートは、令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しており、今年度も中止となった。 R4年度 ①スタインウェイを弾いてみよう : 実施 第15回を迎え、市民の間で定着している。 ②ガラ・コンサート : 実施 3年ぶりの開催となった。 ③クラシックコンサート : 中止 令和5年6月に「阪田知樹ピアノリサイタル」の実施を計画している。		
改 善 策	■文化公演自主事業は、市民に良質な音楽に触れる機会を提供するという趣旨で始まった事業であり、毎年の恒例事業として定着している。 コロナ禍において市民の舞台発表を行う機会が減少する中で、市民の自主的な文化活動の支援のための取り組みを行う。 ■次回の開催が20回目の節目となるが、令和2、3、4年度と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しており、令和5年度に「阪田知樹ピアノリサイタル」の実施を計画している。また、今後の事業の継続について検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	引き続き、市内最大規模の舞台・客席を持つ厚生会館を活用して、市民が身近に音楽を鑑賞・体験する機会の充実を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市展事業							事業コード	650203							
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり								
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興						施策コード	512							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80		頁
計画期間	開始年度	昭和40年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	芸術・創作活動の発表の場と鑑賞の機会を市民に提供し、多くの市民による自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる、豊かな感性を持った地域社会を構築する。					
対象者	市民、出品者(三たん地域のアマチュア芸術愛好者)入場者(市内・市外を対象)		対象者数	76,100	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,857		3,952		4,030		5,712				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		3,857		3,952		4,030		5,712				
予算財源内訳	① 一般財源	427		450		600		1,477				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	3,430		3,502		3,430		4,235				
決算情報	① 流充用額	△ 192		△ 72								
	② 配当予算	3,665		3,880								
	③ 執行額	3,645		3,880								
	④ 執行率	99.5%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.52	/	0.04	0.29	/	0.04			/		
	② 概算人件費	4,260		2,420								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,905		6,300								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市展事業基金繰入(市展振興基金)		種類	基金繰入金		実績金額	250	決算附属資料	38	頁
			市展作品出品料			雑入			621		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	新規出品者数	人	39	/	50	31	/	50	29	/	50
	高校生出品者数	人	7	/	20	1	/	20	6	/	20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	出品者数	人	370	/	400	363	/	400	344	/	400
		単位あたりコスト	3674.0		10.0		11.3				
	入場者数	人	2372	/	3000	2101	/	3000	2287	/	3000
		単位あたりコスト	0.0		1.7		1.7				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■福知山市の芸術文化に取組んでおられる方に発表の場を提供するという観点から本事業の実施の必要性は非常に高い。 ■市民が芸術文化を鑑賞し芸術文化に触れる機会の創出ならびに、芸術文化の裾野を広げるためにも本事業は必要不可欠である。 ■工芸・書・写真・絵画・彫刻の5部門において、専門的な知識を持つ審査員を招いて出品作品を審査し、表彰を行うことで、出品者の参加意欲の向上を図ることが出来た。 ■コロナ禍により2年間実施できなかった、審査員による講評会を開催し、展示作品をより専門的な視点から鑑賞できる機会を設けた。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■会場の設営・展示・撤収作業は美術品の扱いについて専門的な技術を持つ業者に委託することで、安全確保と効率化を図ることが出来た。 ■会場の運営を共催団体と協働で行い、効率化を行った。 ■来場者に対するアンケートを実施し、運営や展示方法について意見・要望を収集した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■市民の芸術活動の場となっており、例年約500点の出品を受けている。 ■市民の芸術鑑賞の場となっており、展示会には例年延べ2,000人以上が来場する。 ■高校生の出品者数増加を目指し、市内高校に募集要項を持参、生徒への周知を依頼した。これにより高校生の出品者数が5名増加した。 ■他市の公募美術展を視察し、事業内容の比較検討や改善を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		■毎年一定時期に開催していることにより、三たん地方を中心とする公募美術展として定着している。 ■60歳以上の出品者により、一定の出品者数を維持できている。一方で、高校生をはじめとする若年層の出品者数が減少している。 ■来場者に対するアンケート結果より、高齢者、出品者の知人等を中心とする来場者層の固定化が想定される。	
改 善 策		■60回大会に向け、若年層をはじめとする新規出品者の増加を目指し、賞の区分及び募集規格の見直し等を協議する。 ■共催団体と連携して、市内の文化教室に作品募集の周知を行うとともに、展示会場での文化教室案内チラシの配架等をおこなう。 ■新規来場者の増加を目指し、HPやSNS等を利用した広報の頻度を上げ、市展の情報を市民の目に触れやすくする。 ■来場者が快適に鑑賞できるよう、展示配置やキャプションの見やすさ向上等の改善をおこなう。 ■アンケートで駐車場の希望がかなり多いため、パーキングの無料券の交付等、検討をおこなう。	

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	R6年度に第60回記念大会となるのに合わせ、市展の今後の方向性を考え、部門や規格の検討をおこなう。 また新しい文化芸術を市展にどのように加えていくかなど、協議検討をおこなう。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☒ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清賞公募美術展事業										事業コード	650205			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80	頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市出身の日本画家であり、名誉市民である佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。 北近畿の中核都市に相応しい文化的イメージの向上を図るとともに、全国に情報を発信することで、福知山市の認知度向上につなげる。					
対象者	市民、入場者(市内外を対象)		対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	12,080		12,441		12,519		13,314						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0							
		次年度繰越	0		0									
	小計(①～③)		12,080		12,441		12,519		13,314					
予算財源内訳	① 一般財源	1,646		2,921		561		3,973						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	10,434		9,520		11,958		9,341						
	決算情報	① 流充用額	1,014		370									
② 配当予算		13,094		12,811										
③ 執行額		13,094		12,810										
④ 執行率		100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.38	/	0.10	0.25	/	0.30	/						
	② 概算人件費	3,290		2,750										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		16,384		15,560										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清賞公募美術展事業基金繰入(佐藤太清賞基金)		種類	基金繰入金		実績金額	2,587		決算附属資料	38		頁
			佐藤太清賞公募美術展出品料			雑入			304			48		
			市町村交付金			雑入			6,541			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	出品者数	人	148	/	250	123	/	250	96	/	250
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	市内高校生の出品者数	人	17	/	12	7	/	12	7	/	12
		単位あたりコスト	87.4		106.5		1830.0				
	入場者数	人	1815	/	2000	1096	/	2000	750	/	2000
		単位あたりコスト	7.1		11.9		17.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■名誉市民である故佐藤太清画伯の後進育成の遺志を引き継ぐためにも、本事業は必要であり、事業内容から民間事業者や市民が実施することは難しい。 ■全国規模の公募美術展を開催することで、日本各地から応募があり、福知山市の認知度向上にもつながった。 ■過去の受賞者の中から、日展作家や個展を開催される方も輩出した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■コスト削減のため、募集から展覧会の開催まで、事務局業務を一元的に委託した。また効率的な審査・美術品運送・会場設営のため、専門的知識や経験を持つ業者に業務を委託した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■本市における文化的資産である「佐藤太清」を活用して、全国の会場で展覧会を行うことにより、「若い世代の育成」というメッセージを発信できた。地元高校生の出品・入賞等もあり、本市の若手芸術家の育成及び文化振興に寄与できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■「芸術文化の推進」、「若い世代の育成」という福知山市の文化的イメージを全国に発信することができた。 ■市内の高校から毎年出品いただくなど、市内においても一定定着している。コロナ禍においても多くの市民が作品を鑑賞できる場を美術館以外で創出する。 ■自宅で入賞作品を見れる「おうちで太清賞」を実施し、コロナ禍の状況下で会場に足を運ばなくても作品を鑑賞できる機会をつくることで、より多くの方に作品を鑑賞いただけた。 ■より入場者数の増加に向けて、有効な広報活動等を検討する必要がある。また、より多くの人に見ていただける場所で実施する必要がある。		
改 善 策	■出品者の増加を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知ならびに聞取りをおこなっていく。 ■全国の高等学校美術部などにアンケートを実施し、さらなる出品者数増加のための方法を検討する。 ■入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への掲載を行っていく。 ■多くの福知山市民、特に若い世代に作品を鑑賞いただくために、展示期間の検討や展覧会会場以外の施設においてデジタルサイネージやパネル等を活用して見ってもらう等を検討し、実施する。		

Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	本事業を市内学生にも、広く認知してもらうため、高校等でのパネルやデジタルサイネージでの公開等を検討する。また、市内の学校に出品を呼び掛ける。 R5年度に実施したアンケートから課題や要望を分析し、より魅力ある美術展となるよう改善をおこなう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☒ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中丹文化芸術祭事業										事業コード	650208				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち							政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課							所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80		頁
計画期間	開始年度	昭和62年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が取り組む芸術・創作活動の成果を発表する場を支援することで、より多くの市民に芸術に触れる機会を提供し、心豊かな地域社会の構築を目指す。						
対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)			対象者数	185,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (中丹3市が持ち回りで事務局を担当する)						
委託先・実施主体等	日本海警備保障株式会社、中丹文化芸術祭実行委員会						
事業概要 (箇条書き)	■中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の発表の場を提供した。 運営については、各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施している。 開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当し、令和4年度は福知山市が事務局を担当した。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容		
	委託料		54		駐車場警備		
	使用料及び賃借料		266		駐車場借賃		
	負担金補助及び交付金		400		負担金		

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	620		868		637		607		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		620		868		637		607		
予算財源内訳	① 一般財源	620		868		637		607		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 220		△ 148						
	② 配当予算	400		720						
	③ 執行額	400		720						
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13	/	0.04	0.07	/	0.04	/		
	② 概算人件費	1,140		660						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,540		1,380						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	出演者数	人	832	/	900	816	/	900	940	/	1000
	来場者数	人	897	/	1000	1047	/	1500	1765	/	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開催種目数	事業	6	/	9	5	/	9	6	/	9
	単位あたりコスト		66.7		80.0		120.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■京都府と中丹3市、3市文化協会の協働で実施している事業であり、福知山市のみならず、中丹3市全体の芸術文化を推進していくために、必要な事業である。 ■中丹3市の芸術・創作活動に取り組む文化団体の発表機会の創出及び市民が本市をはじめとした中丹3市の芸術文化に触れ、創造力を高める重要な機会となった。 ■中丹3市で芸術・創作活動に取り組む文化団体が一堂に会し発表する場を確保し、各市の文化団体が相互に交流し、新たな文化を創造する機会をつくった。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■中丹3市で事務局を持ち回りし、必要最小限のコストで実施できるよう会議等で協議をおこなっている。 ■負担金という形で京都府、中丹3市が均等に経費を負担している。 ■令和4年度は福知山市が事務局を担当し、会場使用料及び負担金等を効率的に使用して事業を実施した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■より多くの市民に芸術に触れる機会を提供するために、京都府、中丹3市で継続して開催している本事業は非常に効果的に目的に対して有効度が高い。 ■開催種目については、次世代の文化の担い手の育成も視野に入れて設定した。 ■新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止されていた事業について、感染対策を行った上で実施した。 ■各文化協会と連携を密にし、意見交換をおこない開催することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		■出演者数・来場者数が目標を下回っており、さらなる増加を図るため、効果的な広報に努める必要がある。 ■内容についても、各文化協会の意見も参考にし、検討を進める必要がある。	
改 善 策		■京都府と中丹3市、3市文化協会の協働で実施している事業であり、課題や情報を共有しながら進めていく。 ■出演者数・来場者数増加に向け、中丹文化事業団、文化協会と連携して新規団体の発掘や広報活動に取り組む。	

Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	中丹文化会館と中丹2市と連携を図り、今後も継続して文化をおこなっている方の発表の場を提供していく。また、文化協会と協力して新規文化団体の増加を図っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業							事業コード	650209					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興						施策コード	512					
事業担当	所 属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	80	頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱、ジュニア文化活動全国大会等出場事業補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とするために、文化協会に事業支援補助を実施し、市民の多様なニーズに対応した文化事業に取組み、文化・芸術活動の発表する機会を提供する。					
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者		対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,447		5,247		6,069		8,207					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		5,447		5,247		6,069		8,207					
予算財源内訳	① 一般財源	1,702		939		1,350		4,242					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,711		2,623		3,034		3,105					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	2,034		1,685		1,685		860					
決算情報	① 流充用額	107		689									
	② 配当予算	5,554		5,936									
	③ 執行額	4,761		5,769									
	④ 執行率	85.7%		97.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.67	/	0.00	0.39	/	0.00	/					
	② 概算人件費	5,360		3,120									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,121		8,889									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業(きょうと地域連携交付金)			総務費府補助金		2,846		26	頁		
			福知山市史等図書ほか			物品売払収入		400				決算附属資料	36
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	全国大会出場補助金利用数	件	0	/	5	2	/	5	5	/	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	文化協会との共催事業数	件	3	/	10	3	/	10	6	/	10
	単位あたりコスト		1686.0		1587.0		961.5				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■本事業は本市文化振興をするために、文化協会へ事業支援補助やジュニア世代の全国大会等への派遣費を補助するための事業であり、必要性は言うまでもなく、市以外で実施はできない。 ■市民が文化に触れる機会を創出するために、市民による文化推進団体である文化協会の活動を支援。また、ジュニア世代の文化活動を盛り上げ、育成していくためにジュニア世代の全国大会等への派遣費補助をおこなった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■福知山市との共催事業として、福知山市文化祭事業や各種公演、発表会を文化協会が中心的な役割を担い、実施することでその効率性は非常に高かった。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■文化協会から、事業報告・収支報告を年度終了後受け、内容を精査した。また、全国大会出場補助金については、制度の要綱に照らし合わせ、5件の申請を受理し、補助金を交付した。 ■文化協会への補助金により、福知山市文化祭や各文化団体の体験教室が実施され、本市の文化の裾野を広げることに非常に有効であった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できている。 ■昨年よりコロナも収まってきて、文化協会との共催事業も回数多く開催できた。 ■高校生等の全国大会への出場に際しての、ジュニア全国大会出場派遣費補助の制度について、各校説明に回った結果、R4年度は5件の申請があり、それに伴い市長激励会も実施した。 ■全国大会出場補助金について、今後も継続して実施できるよう補助金の限度額等の改正をおこなった。		
改 善 策	■ジュニア世代の全国大会等への派遣費補助について、今後も継続して市内高等学校に出向き、制度の説明をおこなう。 ■文化協会と連携を密にとり、時代や市民ニーズにを的確にとらえた文化事業の実施をおこなっていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	今後も、文化協会と連携し、文化振興をおこなっていく。また、文化協会事務所の厚生棟がかなり老朽化しているため、計画的な修繕や補修をおこなっていく。 なお、予算金額の増加については会計年度任用職員の職員課予算から所属課予算への付替えによるものである。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館特別展事業										事業コード	650210			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいがづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	美術館、博物館、個人が所蔵する作品や資料を借用し、展示することで普段見ることのできない作品や資料を身近に鑑賞する機会を市民に提供する。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0		1,888		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0					
小計(①～③)		0		1,888		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		1,888		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 630					
	② 配当予算	0		1,258					
	③ 執行額	0		1,258					
	④ 執行率			100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.20	/	0.00	/	
	② 概算人件費	0		1,600					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		2,858					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
								決算附属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5	最終目標
	美術館での城との共通券販売割合	%	0	/	0	0	/	0	22 / 25	25
			/		/		/		/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5	最終目標
	特別展入館者数	人	0	/	0	0	/	0	791 / 1300	1300
	単位あたりコスト		0.0				1.6			
			/		/		/		/	
	単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■特別企画展として、通常東京国立博物館に展示してある福知山城の遺品を市民に見ていただくことができ、歴史文化推進の観点から必要な事業となった。 ■キリシタン関連出土遺物の資料を東京国立博物館からお借りし、本市にて展示する減多に無い機会であり、また福知山城の遺品として知られていることもあって多くの方が興味を持たれる特別展となった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■目玉の一つとして東京国立博物館からお借りしたキリシタン関連出土遺物を掲げているが、それ以外は本市の所蔵品を多く展示する構成をとったため、コストをかけずに質の高い展示を実施することができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■本事業は福知山城にゆかりのある出土品の展示が中心となっているため、城との共通券販売割合を成果目標に掲げることは理にかなっている。 ■活動実績は目標を達成する事が叶わなかったが、本市の所蔵品を多く用いた展示であり、投入資源に見合っていた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■東京国立博物館の収蔵品を借用するにあたり、文化財保護係とも連携して佐藤太清美術館の展示環境や管理体制の安全性を証明し、予定通りの借用を実現した。 ■共通券は展示を見る前に購入しなくてはならないため、展示を見た後に城に行きたくなった方は共通券ではなく城の入場券を購入することになるため、本展示の成果を共通券の売り上げだけでは完全に把握できなかった。		
改 善 策	■今後、他館の収蔵品をやり取りする場合に備えて、当係内の職員のみでも展示物を扱えるよう、研修等を実施する。 ■共通券ではなく、本展示の半券を城で提示すると入場券が共通券を購入した場合と同等の値段になるようにするなど、展示を見た後に城へ行きやすくなる工夫をする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市ジュニア文化賞表彰事業										事業コード	650216				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所 属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80・82	頁	
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	ジュニア文化賞に関する規則、ジュニア文化賞表彰要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	高校生以下の全国大会において優秀な成績を収めたものを表彰し、文化賞が若者の文化活動の発展・継承、参加への機運醸成につながる事業とする。				
対象者	市内に在住・在学する小学生・中学生及び高校生	対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	51		51		60		132				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		51		51		60		132				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	51		51		60		132				
決算情報	① 流充用額	21		80								
	② 配当予算	72		131								
	③ 執行額	67		131								
	④ 執行率	93.1%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.17	/	0.00	0.21	/	0.00			/		
	② 概算人件費	1,360		1,680								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,427		1,811								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市ジュニア文化賞表彰事業基金繰入(文化賞基金)			種類	基金繰入金		51		40	頁
									決算附属資料			
							実績金額					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	文化賞表彰件数	件	2	/	5	4	/	5	7	/	5
	文化賞推薦件数	件	2	/	5	4	/	5	8	/	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	候補者照会先	件	37	/	37	34	/	34	34	/	34
	単位あたりコスト		23.0		2.0		3.9				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■若者の文化振興の発展及び本市若者の文化レベルを把握するためにも、本事業の必要性は高い。 ■市内学校から推薦していただき、文化で顕著な成績を挙げた高校生に対して、文化賞を7件表彰することで、若者の文化活動の発展及びモチベーションの向上につながった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■候補者について各学校・団体から8件の推薦を受け、選考委員会により効率的に選考を行うことが出来た。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■本市からの表彰が意識の向上、郷土愛の醸成と若年層の文化の底上げに有効だったと考える。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■表彰をすることによってジュニアの文化活動に対する動機づけになり、文化活動の振興につなげることができた。また、高等学校を回り、内容の説明や手続きについて説明することが出来た。今後、高校生以下、若い方の新しい文化の取組みや支援について、情報収集をおこない、効果的な文化賞表彰について検討していく。		
改 善 策	■一定、各学校には本事業の周知は出来たため、今後は市内の各学校に本市の文化事業の趣旨を説明に行く際に、学校から文化に対する現状や新しい取組みなど情報収集をおこなっていく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	文化表彰を継続しておこない、賞の価値を高めていく。 本表彰に該当する方が漏れないよう、各学校等に周知をしっかりとこなう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☒ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生誕110年佐藤太清展事業							事業コード	650229							
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいくくり								
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興						施策コード	512							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	82		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	令和5年度に福知山名誉市民で文化勲章受章者の佐藤太清画伯の生誕110年を迎えるにあたり、その画業と功績を顕彰する。佐藤太清記念美術館を含めた全国の美術館で巡回展を行うことで、市民等に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、全国に情報を発信することで福知山市の認知度向上につなげる。					
対象者	市民、入場者(市内外)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		2,622		23,791		5,000				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
	小計(①～③)		0		2,622		23,791		5,000			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		2,622		23,791		5,000				
	決算情報	① 流充用額	0		△ 92							
② 配当予算		0		2,530								
③ 執行額		0		2,530								
④ 執行率				100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.75	/	0.00	/				
	② 概算人件費	0		6,000								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		8,530								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	生誕110年佐藤太清展事業基金繰入(佐藤太清記念美術館整備基金)			種類	基金繰入金		2,529		38	頁
							実績金額				決算附属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	1館平均来館者数	人	0	/ 0	0	/ 0	-	/ 0	/	1000	1000
	1館平均グッズ販売数	数	0	/ 0	0	/ 0	-	/ 0	/	500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	実行委員会等の開催	回	0	/ 0	0	/ 0	4	/ 3	/	3	3
		単位あたりコスト	0.0		0.0		632.5				
			/		/		/				
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■本事業は故佐藤太清画伯の生誕110年のタイミングで、市民をはじめ多くの方に質の高い芸術文化に触れてもらうことで感性を高めるという意味で必要性は非常に高い。 ■R4年度はR5年度からの巡回展開催に向け、実行委員会を設立し、協議及び調整をおこなった。 ○作品の借用○図録の作成○アートワークの製作○開催館との協議等	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■美術展の専門業者に業務委託し、効率的に業務の実施を行うことができた。 ■支出については、各開催館と協議をおこない、他の手段や方法とのコスト比較等を十分行った上で実施することができた。 ■コスト削除や効率化については、年度ごと実行委員会の監査で承認を受けていることから、正当であったと言える。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■前回の内容や、他の美術館の巡回展の事例等をしっかり確認しながら、実施をおこなうことが出来た。 ■開催館とリモート等で何度も打合せすることで、内容も精査され、非常に有効的な事業内容とすることが出来た。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■資材の高騰や、展示作品の保管費用の発生など、当初想定していなかった経費なども掛かってきており、できるだけ先々の支出を把握していく必要がある。 ■福知山会場において、多くの方に鑑賞してもらえるよう広報や周知を検討していく必要がある。 ■現時点において、巡回展を開催するか、しないか検討している美術館もあり、粘り強く開催を依頼していく。 ■各開催館での展覧会において、佐藤太清画伯をととして、本市をPR出来るよう広報等を検討する。		
改 善 策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	R6年度において、奈良県立万葉文化館が開催予定であり、それをもって110年展終了となる。決算等、会計処理を滞りなくおこない、トラブルが起きないように処理する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)		☒ 他事業へ統合 (統合先事業名: 佐藤太清記念美術館管理運営事業)	

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業										事業コード	650302			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所 属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	82	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	佐藤太清記念美術館において、一般公募で実施する「小さな絵画展」や市内高校からの作品を展示する「高校アート展」他を開催し、作品発表の場、観覧の場として市民文化の発展に寄与することを目的とする。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	951		930		1,067		1,579						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		951		930		1,067		1,579						
予算財源内訳	① 一般財源	0		50		88		412						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	951		880		979		1,167						
決算情報	① 流充用額	△ 168		482										
	② 配当予算	783		1,412										
	③ 執行額	781		1,412										
	④ 執行率	99.7%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14	/	0.80	0.12	/	1.00	/						
	② 概算人件費	3,120		3,460										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,901		4,872										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業基金繰入(佐藤太清記念美術館整備基金)			種類	基金繰入金		369		決算附属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	企画展示品等充実事業関連入館者数	人	5298	/	10000	3145	/	10000	4812	/	10000
	(小さな絵画展、高校アート展、工芸繊維大学連携展)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開催回数	回	3	/	3	3	/	3	3	/	3
	単位あたりコスト		469.7		260.3		470.7				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■市民の芸術文化を高め、生活の質を高めるためには本美術館は必要不可欠であり、それに伴い、美術館における企画や展示品の充実必須である。 ■美術館の使命である芸術作品の収集・保管、活用を図るため収蔵品の適切な管理を行った。 ■「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し、「小さな絵画展」、「高校アート展」、「京都工芸繊維大学連携展」を開催した。 ■魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施し、入場者増を図った。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■収蔵資料の額装等、専門性を要するものは業務委託し、効率的に管理を行うことができた。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■福知山市の文化資産を管理・活用することで文化的イメージの向上を図り、美術館を活用したワークショップやコンサート等の文化活動を積極的に行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■「わかり易く、誰もが楽しめる楽しい展覧会」を目指し、「小さな絵画展」、「高校アート展」、「京都工芸繊維大学連携展」を開催した。 ■より多くの市民に文化に触れてもらうために、美術館のなかだけでなく、より市民の日常生活の場において、目に触れるようなところでも展覧を検討することが必要であるとする。 ■目標値に対して、実績が半分を下回っていることについては、コロナの影響で来館者が少なかったことが大きな要因である。しかし、佐藤太清賞公募美術展においては、「おうちで太清賞」を開催、また各施設でパネル展示など、美術館に来館しなくても、文化に触れてもらう機会を創出できた。		
改 善 策	■見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズをアンケートなどで把握し、それを基に企画運営を図り施設を有効に活用する。 ■美術館以外の、市内学校や市の施設でも展示をおこなう。 ■デジタルサイネージ等をうまく活用し、スペースが限られたところにおいても、映像の展示を検討する。 ■お家で絵画などの芸術作品が楽しめるよう、パソコンが展覧会場になる、デジタルの展示を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	R5年度で好評だった小学生向けの「石から絵具づくり」体験教室など、文化・芸術に高校生以下の子どもたちが触れ合い、体験できる教室やイベントを検討する。 また、市民等が希望する展示作品等をアンケート等で把握し、企画展を検討していく。 デジタルサイネージやテレビモニターに作品画像を順番に映し出すなどし、本来展示スペースではない場所でも文化芸術を楽しんでもらう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☒ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業								事業コード	650306						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり								
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興							施策コード	512						
事業担当	所 属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	82		頁
計画期間	開始年度	平成2年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市厚生会館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)施設利用者(市内外を対象)		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	8,142		44,444		9,418		15,833				
	② 補正予算	0		398		0		0				
	③ 繰越予算	0		△ 33,605		33,605		0				
	前年度繰越	0		0		33,605						
	次年度繰越	0		△ 33,605								
小計(①～③)		8,142		11,237		43,023		15,833				
予算財源内訳	① 一般財源	5,122		5,424		9,764		600				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		3,100		30,200		15,233				
	⑤ その他特財	3,020		2,713		3,059		0				
決算情報	① 流充用額	639		△ 2,915								
	② 配当予算	8,781		8,322								
	③ 執行額	8,775		7,582								
	④ 執行率	99.9%		91.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19	/	1.72	0.14	/	1.72			/		
	② 概算人件費	5,820		5,420								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,595		13,002								
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	佐藤太清記念美術館入館料		種類	総務使用料		401		決算附属資料	10	頁
			自動販売機設置貸付収入(美術館売店)			財産貸付収入		396			36	
			美術館売店使用料			総務使用料		99			10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入館者数	人	69742	/ 11000	4782	/ 11000	5412	/ 11000	/	11000	11000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開館日数	日	270	/ 307	202	/ 307	221	/ 307	/	307	307
		単位あたりコスト	26.8		43.4		34.3				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■本市の名誉市民であり、日本画家の佐藤太清画伯を顕彰し、その作品を展示、収蔵管理を行うことの必要性は言うまでもなく、そのための管理運営を適切におこなった。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■施設の運営において、美術品等に関わる専門性が求められる業務もあり、学芸員等有資格者の嘱託職員を配置した。施設管理に伴う業務については、入札により長期継続契約を締結し、効率的な運営を行った。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■入館者数や開館日数は成果目標として理にかなっている。また、美術館の所蔵品の管理や運営をしっかりと行うことができた。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	■展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。 ■収蔵作品の展示などにより優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供を行うことで市民が文化に触れる機会を創出できた。 ■設備等の老朽化が進んでいる。 ■予算執行率が50%未満の要因は、高圧受電設備更新工事、照明LED工事を令和5年度に繰り越したため。		
改 善 策	■施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでいることから、計画的な改修や、運営方法について計画的に検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	施設や展示作品については、計画的な修繕をおこなっていく。また、本美術館を多くの方に周知するため、ホームページを作成し、美術館のイベント等の情報を伝える。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☒ 他事業を統合 (統合事業名: 生誕110年佐藤太清展事業) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	厚生会館管理運営事業										事業コード	650318				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいがづくり							
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	84		頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市厚生会館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催・運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。					
対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	15,938		15,376		17,749		19,688			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		15,938		15,376		17,749		19,688			
予算財源内訳	① 一般財源	5,426		4,864		7,237		8,476			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	10,512		10,512		10,512		11,212			
決算情報	① 流充用額	△ 312		2,775							
	② 配当予算	15,626		18,151							
	③ 執行額	15,043		18,149							
	④ 執行率	96.3%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19	/	2.80	0.20	/	2.80	/			
	② 概算人件費	8,520		8,600							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,563		26,749							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	厚生会館使用料		種類	総務使用料		7,353		10	頁
			自動販売機設置貸付収入(厚生会館)			財産貸付収入		204			
			自動販売機等電気代等(厚生会館)			雑入		62			
						実績金額		決算附属資料		36	
										46	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設使用料	千円	4405	/	14500	4538	/	14500	6119	/	14500
	施設利用者数	人	10203	/	75000	13972	/	75000	35858	/	75000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設利用件数	件	464	/	1500	483	/	1500	873	/	1500
	単位あたりコスト		30.1		31.1		20.8				
	稼働率	%	9.2	/	30	12	/	30	17.2	/	30
		単位あたりコスト		0.0		-		-			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■施設の老朽化並びに設備費用も古いため、市民からの改修ニーズは高い。 ■新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の舞台発表の機会が減少していることを受け、市内の学校(小中高大)を対象に、文化系部活動の舞台発表する場として、施設を無料で提供する取り組みを実施。計5校が利用。社会ニーズに応じた取り組みを実施することができた。 ■大ホールにおいては、消防出初式、大学の卒業式、市内高校の吹奏楽部の定期演奏会など、新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、貸館(多目的施設としての機能)を果たせた。(大ホールの利用件数は、R3年度と比較し2.4倍増)	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■受益者負担の原則から使用料負担により年間事業費の約40%、自動販売機の貸付等収入で約1%の収入を確保しているが、より利用率を向上させる必要がある。 ■前年度と比較し、施設利用件数は増加しているが、令和4年度もコロナ禍の状況のなか、利用を促す広報等は実施できなかった。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■成果目標は令和元年度までの実績値から平均値を算出しており、成果目標・実績の設定は適切である。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用条件を確認しながら施設利用申請の管理を適切に行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく、必要性は高い。 ■新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した利用者数は回復傾向にあるが、市内他施設に対して設備の老朽化が進んでいることが利用者数減少の要因として想定される。 ■厚生会館施設及び設備の老朽化により、修繕を要する箇所が多数ある。 ■新文化ホール整備基本構想・基本方針の検討に伴い、施設の今後の在り方を検討する。		
改 善 策	■新文化ホールの整備に伴う厚生会館の今後の在り方を考慮しながら、老朽化している設備を改善する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持しつつ、福知山市新文化ホール整備に向けた検討を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新文化ホール計画策定事業										事業コード	650383				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	84		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和9年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化芸術基本法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民が気軽に文化に接し参加できる文化活動の核となる施設として、新たな文化ホールの整備のための基本構想・基本計画の策定に向けて検討に着手する。 検討にあたっては、有識者や関係団体等で構成する検討委員会を設置し、文化ホールとしての機能や、避難所機能など施設の複合化も含め、新文化ホール整備に向けた基本構想・基本計画の検討・策定を行う。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		13,354		1,615		147,545				
	② 補正予算	0		1,255		0		0				
	③ 繰越予算	0		△ 13,255		13,255		0				
		前年度繰越	0		0		13,255					
		次年度繰越	0		△ 13,255							
小計(①～③)		0		1,354		14,870		147,545				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		13,255		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		1,354		1,615		147,545				
決算情報	① 流充用額	0		342								
	② 配当予算	0		1,696								
	③ 執行額	0		1,696								
	④ 執行率			100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.65	/	0.00	/				
	② 概算人件費	0		5,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,896								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新文化ホール計画策定事業基金繰入(文化芸術会館建設基金)			種類	基金繰入金		1,500		42	頁
							実績金額					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	基本構想策定		0	/	0	0	/	0	1	/	1
	基本計画策定		0	/	0	0	/	0	0	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	検討委員会実施回数	回	0	/	0	0	/	0	7	/	7
	単位あたりコスト		0.0				242.3				
	関係団体ヒアリング	件	0	/	0	0	/	0	58	/	30
	単位あたりコスト		0.0				29.2				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■現厚生会館は老朽化が進んでおり、また現代的な舞台演出に対応した音響性能や舞台機能を有していないことから、新文化ホールについて、施設整備を求める声は多い。 ■R4年度は、有識者、市民公募等で構成する検討委員会を7回開催し、新文化ホール基本構想を策定。基本構想を策定するまでに、文化関連団体ヒアリング55団体実施、大学生・高校生ヒアリング24名実施、市民ワークショップ5回延べ75名の参加、Webアンケート118件、パブリックコメント152件を実施し、広く市民意見を聞くことが出来た。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■建設候補地の比較検討や敷地要件の検討など専門的知識を要するため、基本構想・基本計画策定支援業務については、プロポーザルにて委託業者(株式会社シアターワークショップ)を決定。設計金額よりも大幅減の金額で契約締結ができた。 ■検討委員や委託業者とは適宜オンラインで打合せをするなど、コスト削減を実施した。 ■ヒアリング時期を、できるかぎり固めることで、効率的に実施することができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■豊岡市に他市事例について、聞き込みや資料をいただき、十分活用することが出来た。 ■検討委員からも多くの情報をもらい、先行事例の分析や外部資源については、十分協議や検討をおこなった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■R4年度は、有識者、市民公募等で構成する検討委員会を7回開催し、基本構想を策定。 ■基本構想を策定するまでに、文化関連団体ヒアリング55団体実施、大学生・高校生ヒアリング24名実施、市民ワークショップ5回延べ75名参加、Webアンケート118件、パブリックコメント152件を実施。それぞれの取り組みで徴取した意見は、検討委員会で検討した。 ■多くの市民に知ってもらうため、検討委員会実施後はその都度議会に報告をおこない、市民意見の聴取やワークショップの案内は、市HP、広報カード、LINE等市公式SNSで告知、またチラシを作成し市内公共施設に配布するなどデジタル&アナログ両輪で広報を実施し、広く周知することができた。 ■今後も、市民に関心を持ってもらえるよう情報を逐一提供し、丁寧な説明により市民の理解を得ることを継続していく。		
改 善 策	■市民に関心を持ってもらうよう、新文化ホール基本計画については市民説明会(現地とオンライン)を実施する。 ■また、パブリックコメントについては、市HP、広報カード、LINE等市公式SNSで告知や、文化協会や市内高等学校の文化関係者へ積極的に呼びかける。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	福知山市新文化ホールの整備に向けて引き続き、市民参加のワークショップや市民が企画・運営に参加・参画する事業を実施するなど市民の意見を聴取しやすい機会を作りながら事業を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---